

一般会計補正予算歳入歳出それぞれ1億8千109万2千円を追加し歳入歳出の総額を270億5千746万1千円としました。石狩市総合保健福祉センター条例の一部を改正する条例、石狩市学校設置条例の一部を改正する条例を可決。石狩市政治倫理条例の一部を改正する条例に無所属市民ネットワーク北海道は反対討論を行いました。生活クラブ運動グループが提出した「石狩市子どもの権利条例制定を求める」陳情は継続審議となりました。

学校施設や通学路におけるブロック塀等の安全性確保を求める意見書他4意見書を可決しました。

質 問	答 弁
<p>1. 石狩市の多様な資源を守り伝える活動の支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> 石狩市には、自然、歴史、文化、芸術などの資源が豊富にある。これを守り、次世代に伝える手法についても考えなくてはならない。そのためには市民力が欠かせず適切な行政の支援を考えるべき。 	<p>1</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加しやすい仕組みの醸成というのは極めて難題であり、ある意味では自主的な参加を促すための情報提供が必要だ。方法について具体性を欠くが、やはり情報を的確に伝えるということを考えてほうがいいのではないかと考えている。
<p>2. 禁煙の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共施設の入り口や敷地内に喫煙場所があり、受動喫煙の影響から公共施設における禁煙の取り組みについて伺う。 	<p>2</p> <ul style="list-style-type: none"> それぞれの施設ごとに法令等にもとづく受動喫煙の防止に向けた準備、対策を講じることになることから、これらを集約し、市民に対し周知したいと考えている。
<p>3. 行政が行う調査・アンケートなどの実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民及び観光客を対象とした聞き取り調査や若者の日常生活と意識に関するアンケートが実施されているが、アンケートの趣旨が伝わっていないと思われる事例がある。問題意識がどこにあり、誰を対象としてどの様な考えを引き出したいのか理解できないものもある。アンケートや調査には多くの時間や労力が必要であり、聞き取りの内容を精査することが必要ではないか。 	<p>3</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞き取り調査、アンケートの回答内容について、現在、鋭意分析を進めている。これらの調査結果をしっかりと把握し、効果的な施策の展開に取り組んでまいりたい。今後においても、このような調査を実施するには、内容の精査はもとより、より明確に目的が伝わるよう意を配してまいりたいと考えている。
<p>4. フッ化物応用の危険性について</p> <ul style="list-style-type: none"> フッ化物応用によって他市で起こっている副反応と思われる事例をフッ化物洗口実施施設の保護者に情報提供し、副作用が疑われる場合には個々に判断できるようにすべき。 フッ化物洗口を実施している施設の職員に対し、実施による負担、不安の聞き取りを行ったことはあるか。ないのであれば実施すべき。 	<p>4</p> <ul style="list-style-type: none"> 適正に応用する場合、急性中毒や過敏症状は否定されており、平成29年度末現在、本市を含め道内174の市町村で集団フッ化物洗口が実施されているが、これまで健康被害は確認されていないことから、提案の情報提供を行う考えはない。 毎年、各施設へ次年度の実施事項を確認する調査書に記入欄を設けているほか、職員向け説明会の開催も合わせて案内している。施設を訪問した際にも、直接職員と面談し、困り事など事業実施の問題点の把握に努めている。
<p>5. 保育士の処遇改善について</p> <ul style="list-style-type: none"> 全国的な保育士不足によって、待機児童対策にも支障を来している状況にある。保育サービスの充実には、サービスを提供する側の処遇改善を図ることが必要であり、保育士不足の現状と労働の実態把握をすべき。 保育士処遇改善の具体策を伺う。 保育士不足の解消のため、有資格者の調査を行い対策に取り組む自治体も見られる。資格保有者に対するアプローチについての考えを伺う。 	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> 有保育士資格の約5割が保育士として就労していない状況がある。就労保育士が改善を求めているのは、給与・賞与等の改善及び事務、雑務の軽減に関するものが約6割にも達し、近年の保育士不足を解消するには、処遇改善や労働環境の改善に取り組むことが肝要と考える。労働環境については、保育業務以外の事務が負担となっており、ICTシステムの導入を促進し事務の軽減を図り、環境整備に努めている。 平成27年度から平均経験年数等に応じた処遇改善、平成29年度からは技能・経験に応じた処遇改善を行っており、今後も国が進める処遇改善に沿って適切に実施する。 国の来年度概算要求には、休職中の保育士の希望に応じた勤務先を選択しやすい環境整備や保育所等による採用活動を支援し、保育所等の勤務環境を改善するためのさまざまな事業が盛り込まれている。処遇改善事業のような直接的なアプローチ以外にも、今後その内容を精査し、並行して進めたい。
<p>6. 化学物質等による健康被害防止の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> マイクロプラスチック、マイクロビーズ、マイクロプラスチックファイバー等の海洋汚染、水質汚染が広がる中、日本の対応は遅れている。自治体や企業が積極的に取り組み市民に情報提供を行うべき。 洗剤、柔軟剤、虫除けスプレー、除草剤等による健康被害の防止に向けた情報提供と取り組みについて伺う。 	<p>6</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球規模の視点を持って考え、各国において取り組む重要かつ困難な課題であると認識している。本市としては、引き続き、4Rの推進を図るとともに、マイクロプラスチックに関する調査結果等の把握に努め、国の施策の動向を注視し、施策の方向性が示されれば、遅れることなく適切に対応したい。 国や国民生活センター等の情報にもとづき、人体に影響を及ぼす可能性がある成分を含む日用品の使用に当たっては、成分表示や使用上の注意をよく見て適切に使用するよう周知を行い、市民の健康被害の防止に努める。
<p>7. 風力発電設備の設置及び運用の基準に関するガイドラインについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ガイドライン策定の目的は何か。 石狩市としてガイドラインを策定するにあたり基本的な考えを持つべきではないか。 	<p>7</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域に応じた基準値を設定することなどにより、地域の安全の確保、生活環境の保全及び自然環境の保護を行うことを目的としている。 ガイドラインは、風力発電設備の住宅等からの距離や騒音などについて基準を設け、市が事業計画を適切に把握し、運用を適切な状況に誘導することを目指している。
<p>8. 平和教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> 平和の大切さを考え感じるための学習の実施について伺う。2018年6月23日、沖縄で行われた沖縄全戦没者追悼式で朗読された平和の詩「生きる」に大きな反響があった。平和を生きることの大切さを体感することができる時間の設定が必要ではないか。 	<p>8</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが、戦争の悲惨さや平和の尊さを学び、平和な未来の実現に向け、自分ができることを考える、平和の学習は非常に重要である。体験活動の一環として、友好都市沖縄恩納村への中学校交流事業における訪問の際、戦争の跡地を訪れ、慰霊碑への献花を行うなど、戦争の悲惨さや平和の大切さの理解を深める機会を設けている。今後も取り組みを継続するとともに、各学校において鋭意工夫しながら、平和に向けて学ぶ機会の拡充、さらには家庭や地域と連携しながら、平和教育の推進に努める。